

科目名 「 歯科予防処置論Ⅲ 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	門脇 明美
科目ナンバリング	C-8-⑦-I-17	
単位数	2	
学修目標 (GIO)	歯周病予防処置法, う蝕予防処置法において, 歯科衛生士業務の予防処置を行うための知識, 技能, 態度を修得する。	
担当教員	*門脇 明美, *和田 由紀子 *岡元 明菜, *中澤 広美, *鷹巣 美香	
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) 歯科衛生士教本「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) プリント配布	
参考図書		
評価方法 (EV)	実習評価: 30% (実技評価20%・課題提出10%), 定期試験: 70%で総合的に判断する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科衛生士の実務経験を活かし, 歯科衛生士業務の一つである歯科予防処置論について説明する。後期から臨床実習を控えているため, 各自手技の訓練と毎回の実習の振り返りを行い, 次の実習へと臨み, 実際の患者診療の総仕上げに向けての技術を修得してください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	グレーシースケーラーのシャープニング	<p>【授業の一般目標】 グレーシースケーラーの取り扱いができるようになるために知識, 技能, 態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. グレーシースケーラーの特徴を理解することができる。 2. グレーシースケーラーのシャープニングを行うことができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章①を読みシックルスケーラーのシャープニング方法を確認すること。 復習時間: 60分, 復習内容: グレーシースケーラーのシャープニングを確認しておくこと。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣

<p>第2回 4/12</p>	<p>小窩裂溝填塞法 フッ化ジアンミン銀 取り扱い</p>	<p>【授業の一般目標】 小窩裂溝填塞, フッ化ジアンミン銀の取り扱いができるようになるために知識, 技能, 態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 小窩裂溝填塞材の種類と特徴, 有効性を説明できる。 2. 小窩裂溝填塞法を実施できる。 3. フッ化ジアンミン銀の取り扱いを理解する。 4. フッ化ジアンミン銀の取り扱いを修得する。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章④, 「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法」Ⅱ, 5章, 6章を読み, 術式を確認しておくこと。 復習時間: 60分, 復習内容: 小窩裂溝填塞法, フッ化ジアンミン銀について振り返り, 実習記録用紙に記載すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>* 門脇 * 和田 * 中澤 * 鷹巣</p>
<p>第3回 4/19</p>	<p>根分岐部における キュレット スケーラー操作</p>	<p>【授業の一般目標】 根分岐部に対するスケーラー操作ができるようになるために, 知識, 技能, 態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 根分岐部の検査方法を説明できる。 2. 診査の結果を説明できる。 3. 根分岐部のスケーラー操作を説明できる。 【準備学修項目】 予習時間: 60分, 予習内容: キュレットスケーラー操作, ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 復習時間: 60分, 復習内容: 実習を振り返り, 実習記録用紙に記載し, マネキンにて操作の確認をすること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>* 門脇 * 和田 * 中澤 * 鷹巣</p>
<p>第4回 4/26 第5回 5/10</p>	<p>相互実習 キュレット スケーラー操作 ポケット測定 上顎</p>	<p>【授業の一般目標】 マネキン実習で身につけた技術により, 生体でのキュレットスケーラー操作ができるようになるために, 術者, 患者, 補助者の経験を通じ, それぞれの立場での技術, 知識, 態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者: 1. 患者に配慮し適切なキュレットスケーラー操作ができる。 2. 患者に配慮し, ポケット測定を行うことができる。 患者: 患者の立場を理解し, スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 補助者: 術者, 患者に配慮し, アシスタントワークを行う。 【準備学修項目】 予習時間: 60分, 予習内容: キュレットスケーラー操作, ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 復習時間: 60分, 復習内容: 実習を振り返り, 実習記録用紙に記載し, マネキンでキュレットスケーラー操作の確認をすること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>* 門脇 * 和田 * 中澤 * 鷹巣</p>

<p>第6回 5/17</p> <p>第7回 5/24</p>	<p>相互実習 キュレット スケーラー操作 ポケット測定 下顎</p>	<p>【授業の一般目標】 マネキン実習で身につけた技術により、生体でのキュレットスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者、補助者の経験を通じ、それぞれの立場での技術、知識、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：1. 患者に配慮し適切なキュレットスケーラー操作ができる。 2. 患者に配慮し、ポケット測定を行うことができる。 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを行う。</p> <p>【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、実習記録用紙を記載し、マネキンでキュレットスケーラー操作の確認をすること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>
<p>第8回 5/31</p>	<p>超音波スケーラー エアスケーラー 歯面清掃器 ・歯科予防処置時に起こり得る 不快事項</p>	<p>【授業の一般目標】 超音波スケーラー、エアスケーラー、歯面清掃器の操作ができるようになるために、知識、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 超音波スケーラーの種類と特徴を説明できる。 2. 超音波スケーラーの使用方法を説明できる。 3. エアスケーラーの種類と特徴を説明できる。 4. 歯面清掃器の目的、特徴を説明できる。 5. 歯面清掃器の使用方法を説明できる。 6. イリゲーションの方法を説明できる。 7. 不快事項に対する適切な対処方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章①、②を読んでおくこと。 復習時間：60分、復習内容：超音波スケーラー、エアスケーラーについて確認すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*門脇</p>
<p>第9回 6/7</p>	<p>超音波 スケーラー エアスケーラー 基礎実習</p>	<p>【授業の一般目標】 超音波スケーラー、エアスケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 超音波スケーラーの使用方法を説明できる。 2. エアスケーラーの使用方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容 第3回講義時の配布プリント、超音波スケーラー、エアスケーラー使用法を確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 次回の相互実習に向けて、超音波スケーラーの使用法を確認すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>

<p>第10回 6/14</p> <p>第11回 6/21</p>	<p>相互実習 超音波スケーラー エアスケーラー</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内での超音波スケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：患者に配慮し超音波スケーラー操作を適確に行うことができる。 患者：患者の立場を理解し術者、補助者時に役立てる。 補助者：術者、患者に配慮しアシスタントワークを行う。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 第5, 6回の講義、実習内容を復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 超音波スケーラーの使用方法を確認すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>
<p>第12回 6/28</p> <p>第13回 7/5</p> <p>第14回 7/12</p>	<p>患者予備実習</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床でスケーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：1. 患者に配慮した操作を行うことができる。 2. 口腔内観察を実施することができる。 3. 患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。 患者：術者を評価するとともに、患者体験を通じて術者として活かすことができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： スケーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 実習を振り返り、実習記録用紙に記載し、マネキンにてスケーラー操作の確認をすること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *岡元 *中澤 *鷹巣</p>
<p>第15回 7/19</p>	<p>スケーリング 実技試験</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床実習でスケーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：患者に配慮し安全な操作を行うことができる。 患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： スケーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 実習を振り返り、臨床実習に向け各自練習に励むこと。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>